

### 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	山ノ内町の宿泊施設と連携した観光人材育成プログラム
事業主体 (連絡先)	一般社団法人観光教育・インターンシップセンター 090-6815-0379
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,459,684 円 (うち支援金 : 1,167,000 円)

#### 事業内容

やまのうちインターンシップの開催  
 夏季・冬季 合計 103名 参加  
 協力大学と共に学校では学べない観光教育の場として「やまのうちインターンシップ」を開催した。  
 事前学習・実務・フィールドワークを3本柱とし、観光業の理解を深めた。今年度の特徴として「ホテル経営」を学ぶ講座を用意し、単におもてなしを学ぶだけではない経営についても学べる環境を用意し就業促進を図った。



【事前勉強会の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ① 地域に愛着を持つ
- ② 宿泊業に興味を持つ
- ③ 山ノ内町への就業促進を図る
- ④

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

「地域に愛着を持つ」

インターンシップを通じて山ノ内町に興味をもった学生がインターンシップ後に友人家族と観光をしに訪れるという事例が多くあった。

「宿泊業に興味を持つ」

長期休みを利用して複数回働きに来るなど労働力の確保にもつながった。

「山ノ内町への就業促進を図る」

参加学生の当町の宿泊施設への就職はなかったが1.2年生に対して旅館側が継続的にコンタクトを取っている。

※自己評価 【 B 】

#### 【理由】

参加者は想定どおりの人数だったが、就業までつなげられなかったため。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

より一層就業促進につながるようなプログラムを作り、学生の就職につながるサポートを行いたい。

外国人旅行者も相当数山ノ内町には戻ってきており、今後はインバウンドの受け入れの為の人材育成を行っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある